



# 八千代の里山

報告者：高橋秀文



## 分科会の内容紹介

日時：2008年3月16日13:00-16:40

場所：八千代市総合生涯学習プラザ

参加者数：84名

内容：「生命をはぐくむ谷津・里山」をテーマに講演及び市の施策報告

## 本分科会のまとめ

### ■講演：「里山の意味と保全」

講師：ケビン・ショート氏

人々は里山で自然とバランスを保ち暮らしてきた。美しい原風景、文化、歴史、食文化、持続可能な暮らしの知恵と知識がある。生物多様性の高い自然であり、人間と自然のつながりを取り戻す環境教育の場、国民の癒しの場である。千葉の水田は渡り鳥の生息にとっても大切に、国際的な役割を果たす。保全のためには、NPOが出来ることには限りがあり、農家にとって自然に優しい農業が有利である状況を作ることが必要。

### ■講演：「里山の生物多様性と市民による生物モニタリング調査について」

講師：(財)日本自然保護協会 福田真由子氏

### ■八千代市から「水と緑を守る取り組み」等報告



分科会の様子

